

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(平成30年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考					
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値				
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	30年度実績		A	収蔵施設の問題等で、現在受入は行っていない。					
					館設定の目標								
			2	資料の情報化・公開実績	30年度実績				現状の職員数では手が回らず、実施できず。				
					前年度実績								
			3	博物館資料のチェック	30年度実績	全点				4	収蔵資料リストと現物を照合し、概寸を調査。全資料のチェックを目標値とする。		
					館設定30年度の目標	全点							
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	30年度実績	2件	4	A				展示などで実物資料を外部機関等が館外貸出を要望した件数と実績件数を記載した。	
					要望のあった件数	2件							
			5	館内利用(学術調査等)	30年度実績	1件			4				研究者などが来館して資料閲覧の要望と実績件数。
					要望のあった件数	1件							
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	30年度実績	13件				4	出版物や展示などへの掲載要望と実績件数。		
					要望のあった件数	13件							
調査研究	7	調査事案件数	件数	30年度実績	3件	4	A	現状の職員数では手が回らない。					
			館の計画	3件									
	8	共同調査事案件数	件数	30年度実績					『たかぼ通信』への寄稿・外部講師の実績件数。				
			館設定30年度の目標										
	9	研究成果の公開状況	論文研究報告	30年度実績	4件					4			
				前年度実績	4件								
大項目 I の総合評価(A~D)						A							
博物館コメント	収蔵資料については、現在新規の寄贈は受け入れていない。平成30年度は収蔵資料のチェックを行い、有効活用に役立てるように整備を行った。												

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	30年度実績	12,320人	3	B	当館では企画展は年1回であるため、トピックス展や出張展示を集計した。
						前年度実績	13,017人			
			2	企画展(事業名) 利根川下流域の舟運 船大工の技術と生活	入館者数	30年度実績	3,808人	3		
						前年度実績	4,504人			
			3	トピックス展等	入館者数	30年度実績	11,824人	4		
						前年度実績	11,460人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	30年度実績	2回	4		
						前年度実績	1回			
			5	企画展(事業名) 利根川下流域の舟運 船大工の技術と生活	実施回数	30年度実績	1回	4		
前年度実績	1回									
6	トピックス展等	実施回数	30年度実績	10回	4					
			前年度実績	5回						
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」 +「良かった」の割合	30年度実績		4	A	館へのアンケートは実施していない。		
				前年度実績	95%					
				30年度実績						
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	展示への来館者の満足度は高かった。特に企画展「利根川下流域の舟運 船大工の技術と生活」は、大利根分館の研究テーマで、船大工道具や船の模型、その信仰などを展示するとともに、映像や音声資料を活用し、好評であった。夏休み展示「カッパとナマズ〜川のいたずらものと地中のあばれもの〜」では、当館の収蔵資料や寄託資料を活用し、子供たちに人気のカッパとナマズを紹介する親しみやすい展示となった。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	30年度実績	47%	3	B	来館者の高齢化が進み、入場料は減少傾向にある。
						前年度実績	55%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	30年度実績				
						前年度実績				
大項目IIIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	入場料収入の目標は、過去に最も収入の多かった額(平成23年度実績額)を100%として計算している。季節展は、当館で人気の収蔵品であるカッパとナマズ関係の展示を行った。来館者の評価は高いが入場料の増加に結びつかず、財源の確保が課題である状況が続いている。									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	30年度実績	30回	4	A	担当職員の努力により、HPのアップ数を増加することができた。
						館設定30年度の目標	28回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	30年度実績	12,806件	4		
		館設定30年度の目標				12,000件				
		3	報道機関への情報発信	取材件数	30年度実績	6件	3			
					館設定30年度の目標	7件				
大項目IVの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	大利根分館は職員数が少ないため、これ以上のHP等を用いた情報発信はむずかしい。そのため、今年度は広報活動の手段をチラシの道の駅への配布などに切り替えた。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	30年度実績	31校	4	A	当館に来館して学校解説した学校数
					館設定30年度の目標	30校				
			2	入館者数	30年度実績	1468人	4	当館に来館して学校解説した学校の入館者数		
					館設定30年度の目標	1400人				
			3	生徒・児童	入館者数	30年度実績	1378人	4		当館に来館して学校解説した学校の入館者数
		館設定30年度の目標				1300人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	30年度実績	33校	4	学校出前授業での展示校数		
					館設定30年度の目標	30校				
		5	利用者数	30年度実績	14854人	4	学校出前授業の展示での利用者数			
				館設定30年度の目標	14,000人					
地域関係団体との連携	6	団体数	30年度実績	2団体	2	B				
			館設定30年度の目標	3団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	30年度実績	3回		4			
				館設定30年度の目標	3回					
	8	利用者数	30年度実績	31人	4					
			館設定30年度の目標	31人						
9	友の会活動	利用人数	30年度実績			友の会は無。				
			前年度実績							
10	ボランティア活動	活動延人数	30年度実績			現状の職員数ではボランティア活動対応ができないため、目標に定めず。				
			前年度実績							
大項目Vの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	昔の道具の小学校側の利用希望は安定的にある。今年度は、新学習指導要領への対応するプログラムの開発に力を入れた。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	水郷の自然と歴史	参加者数	30年度実績	128人	4	A	
						前年度実績	121人			
			2	講座	展示関連講座等	参加者数	30年度実績	143人		4
							館設定30年度の目標	140人		
			3	〇〇〇〇	参加者数	〇〇年度実績	/	/		
						募集員数	/			
			4	体験教室	かわいいカモをつくろう他	参加者数	30年度実績	290人		3
							前年度実績	303人		
		5	〇〇〇〇	参加者数	〇〇年度実績	/	/			
					前年度実績	/				
		6	〇〇〇〇	参加者数	〇〇年度実績	/	/			
					募集員数	/				
		7	昭和の名車大集合関連	参加者数	30年度実績	3984人	4			
					館設定30年度の目標	4000人				
		8	出張写真展	参加者数	30年度実績	59421人	4			
					前年度実績	34508人				
		総合的な満足度	9	講座	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績	/	/	講座ごとにアンケートは実施していない。
〇〇年度実績	/									
〇〇年度実績	/									
12	体験教室		〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績	/				
					〇〇年度実績	/				
					〇〇年度実績	/				
15	〇〇〇〇		満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績	/	/				
				〇〇年度実績	/					
16	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	〇〇年度実績	/	/					
			〇〇年度実績	/						
17	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	30年度実績	78件	3					
			館30年度の目標	80件						
大項目VIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	講座や体験教室の受講者数はほぼ安定している。内容が小さい子供達でも簡単にできるようなものが多いことから、特にアンケートは行っていないが、「有意義だった」「楽しかった」との声が多かった。「昭和の名車大集合」は7回目となり、定期的なイベントとして定着している。また、出品者たちが自発的に6月にチラシ配りをするなど、イベントを盛り上げようという協力体制もできていることが、参加者数の増加に繋がっている。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	〇〇年度実績	/	/	博物館実習等は現状の職員数では対応ができないため、目標に定めず。		
					館設定〇〇年度の目標					
			2	教員等の研修	〇〇年度実績	/	/			
					館設定〇〇年度の目標					
			3	職場体験	〇〇年度実績	/	/			
					館設定〇〇年度の目標					
			4	インターンシップ	〇〇年度実績	/	/			
					館設定〇〇年度の目標					
		5	研修会の開催	実施回数	30年度実績	1回	4		A	
				館の計画	館の計画	1回				
6	防災訓練実施等	実施回数	30年度実績	1回	4					
		館の計画	館の計画	1回						
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						A				
博物館コメント	実習・研修については配置職員の人数では対応ができないため、受け入れを行っていない。安全管理の研修などは行っている。									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	30年度実績	2団体	2	C		
					館設定30年度の目標	3団体				
					〇〇年度実績	/				
					館設定〇〇年度の目標	/				
			2	外国人来館入込	30年度実績	/	/			
					館設定30年度の目標	/				
		3	外国人来館入込	30年度実績	8人	3				
				前年度実績	14人					
		大項目Ⅷの総合評価(A~D)							C	
		博物館コメント	デイケア施設や養護施設などからの来訪は、減少しつつある。外国人団体や入館者については、当館の立地が交通の便が悪いため、少ないのが現状。佐原の町並みには外国人の来訪が増加しているため、そこからの誘致を進める施策をすれば、増加に繋がる可能性はある。							
総合評価(A~D) 【各達成度の平均】						A				
総合評価と次年度への対策	大利根分館の来館者は、隣接する水郷佐原あやめパークのあやめ祭りの時期に集中しており、両施設を併せて見学される方が多い。地域連携としては、あやめパークと連携した体験事業や道の駅・川の駅 水の郷さわらにおける出張写真展を行っている。このような連携事業を行うことで、博物館の知名度を高め、入館者数増加につなげていきたい。また、一昨年度から行っていた収蔵資料の再チェックと概寸の測定は全点チェックが終了した。次年度以降情報システムへの資料登録を進め、収蔵資料を整備する。									